取扱説明書

保証書付
（下側が保証書となってます）

サン電子の商品を正しくご使用していただくために取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は、いつでもみることができる場所に保管してください。

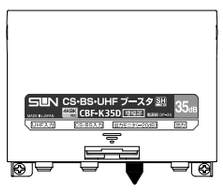
KT－0854

このたびはサン電子の商品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

4K・8K衛星放送対応
ホーム用電源分離型CS・BS・UHFブースタ

4K8K対応　CS・BS 3224MHz 増幅　UHF 増幅

35dB型 CBF-K35D　　**41dB型 CBF-K41D**



増幅部
（屋内外用）

電源部
（屋内用）

※FM・VHF・スカパー！プレミアムサービス・CATVには使用できません。

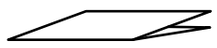
4K・8K衛星放送の受信について

- ■４K・８K衛星放送を受信するためには、４K・８K衛星放送の受信機が必要になります。
- ■４K・８K衛星放送を受信するためには、本器以外の受信機器も４K・８K衛星放送対応機器である必要があります。
- ■４K・８K衛星放送のサービスが始まると、受信するチャンネル数が増加して、ブースタが過大入力になることがあります。４K・８K衛星放送やこれまで視聴できた衛星放送が映らなくなった場合は、ブースタの再調整をしてください。

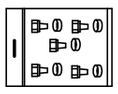
特長

- ■妨害信号の飛び込みを防ぐ高シールドタイプの電源分離型ブースタです。
- ■ＵＨＦプリアンプ用電源スイッチにより、別売のＵＨＦプリアンプへ電源を送電できます。また、送電状態をパイロットランプで確認できます。（当社指定のプリアンプをご使用下さい）
- ■従来のマスト取付に加え、取付金具等の水平部分（アーム部）にも取り付け可能です。（増幅部）
- ■出力モニタ（測定用）端子を搭載し、各帯域に10dBの入力アッテネータと０～-10dBの利得調整機能を備えているので、レベル調整が容易に行えます。
- ■防雨構造を採用し、屋外でも設置できます。（増幅部）

付属品

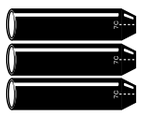


取扱説明書（保証書付）×１部



Ｆ－５接栓×５個

壁面取付用木ネジ
（±丸木ネジ；3.1×16）×４本
（増幅部及び電源部に装着してあります）



防水キャップ（大）×３個

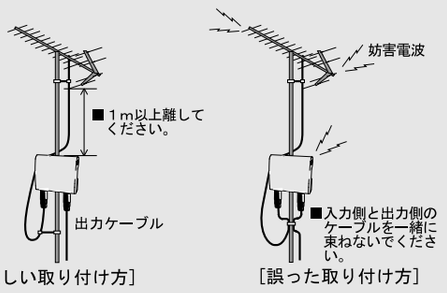
端子キャップ×１個
（増幅部に装着してあります）

防水キャップ（小）×１個
（増幅部に装着してあります）

注意　ブースタは正しくお使いください。

ブースタを正しく取り付けないと自分の家やご近所のテレビの写りが悪くなることがあります。

1. 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
2. 入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースタに巻きつけないでください。
3. アンテナマストに取り付ける場合は、ＵＨＦアンテナとブースタを１m以上離してください。
4. 本品を設置してもデジタル放送受信機器に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらない場合や下がる場合がありますが、本品の不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信ＣＮの換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。
5. 増幅部のフタをしっかりと閉めてください。
6. 増幅部を屋外に取り付ける場合は入力端子と出力端子が必ず下向きになる様に取り付け防水キャップを取り付けてください。



［正しい取り付け方］　［誤った取り付け方］

7. 電波が弱く、アンテナとテレビを短い距離で直接接続した状態で良好に受信できない場合は本器をご使用頂いても効果がありません。
8. 各端子への接続及び各スイッチの操作は使用目的に応じ確実に設定されているか必ず確認してください。
9. スイッチが長期間未使用の場合は、切換操作を数回行い、スイッチ接点部のクリーニングをしてから操作してください。
10. AC100V電源を接続してもパイロットランプが点灯しない場合は、最寄の営業所にお問い合わせください。
11. 無線ＬＡＮ（使用周波数：２.４GHz帯）やＷｉＭＡＸを本器の近くで使用すると電波が干渉する場合があります。衛星放送の受信や通信に障害が発生する場合は、無線ＬＡＮやＷｉＭＡＸを使用する通信機器を本器から離れた場所に設置してください。

目次

- ・各部の名称・・・・・・・・・・・・1
- ・接続例・・・・・・・・・・・・・2
- ・取付方法・・・・・・・・・・・・3
- ・ＣＳ・ＢＳ帯域の調整方法・・4
- ・同軸ケーブルの加工方法・・・・・・5
- ・端子と同軸ケーブルの接続方法・・・6
- ・トラブルシューティング・・・・・・7
- ・規格表・・・・・・・・・・・・・・8

1-1 各部の名称　増幅部（CBF－K35D、CBF－K41D）

増幅部（屋内外用）

UHFプリアンプ用電源
ＵＨＦプリアンプ（別売品）を使用する場合はＵＨＦプリアンプ電源スイッチをＯＮにしてください。
出荷時は、ＯＦＦになっています。

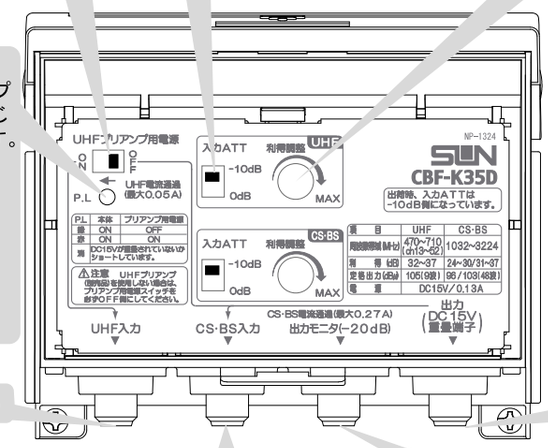
各帯域入力ＡＴＴ（入力アッテネータ）
入力レベルを０dB、-10dBの切換えにより調整できます。
出荷時は、-10dB側になっています。

各帯域利得調整
出力レベルを連続で０～-10dB以上調整できます。
出荷時は、ＭＡＸ（０dB）になっています。

パイロットランプ
本体に電源が供給されるとUHFプリアンプ電源スイッチの設定に応じて緑色もしくは赤色に点灯します。

点灯色の状態

P.L	本体	プリアンプ用電源
緑	ＯＮ	ＯＦＦ
赤	ＯＮ	ＯＮ
消	ＤＣ１５Ｖが重畳されていないかショートしています。	



注意
- ・スイッチが長期間未使用の場合は切換操作を数回行いスイッチ接点部のクリーニングをしてから操作してください。
- ・スイッチは軽く操作してください。強く操作すると破損する恐れがあります。
- ・利得調整用ボリュームは小形のマイナスドライバーで軽く回してください。強く回すと破損する恐れがあります。

UHF入力端子

出力端子（電源部へ）

CS・BS入力端子
空き端子とする場合にはダミー抵抗を**取り付けない**でください。故障の原因となります。
（但し、電流カット仕様のダミー抵抗は除く）

出力モニタ端子（-20dB）
レベル測定や調整時に使用してください。
測定後は必ず端子キャップを取り付けた後、防水キャップ（小）を上から取り付けてください。

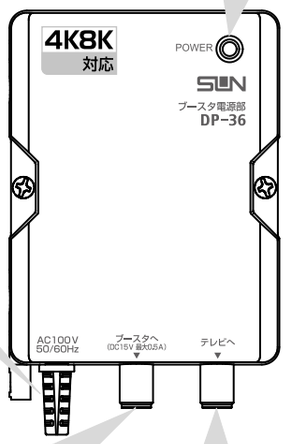
1-2 各部の名称　電源部（DP－36）

電源部（屋内用）

増幅部と必ずセットでお使いください。

⚠ 注意
- ・電源部にはスイッチがありません。AC100Vコンセントを接続すると、ブースタ端子から電流が流れますので、配線終了後、電源を差し込んでください。
- ・電源部は屋内専用ですが、押入れ、天井裏等の見えない場所や浴室、流し近く等の直接水のかかる所や湿気の多い場所には危険ですので設置しないでください。

パワーランプ
AC100Vを接続し電源が端子より重畳されると緑色に点灯します。
ＡＣ１００Ｖを接続しても、点滅を繰り返したり、緑色に点灯しない場合は、「７．トラブルシューティングＱ２」を参照してください。



電源コード

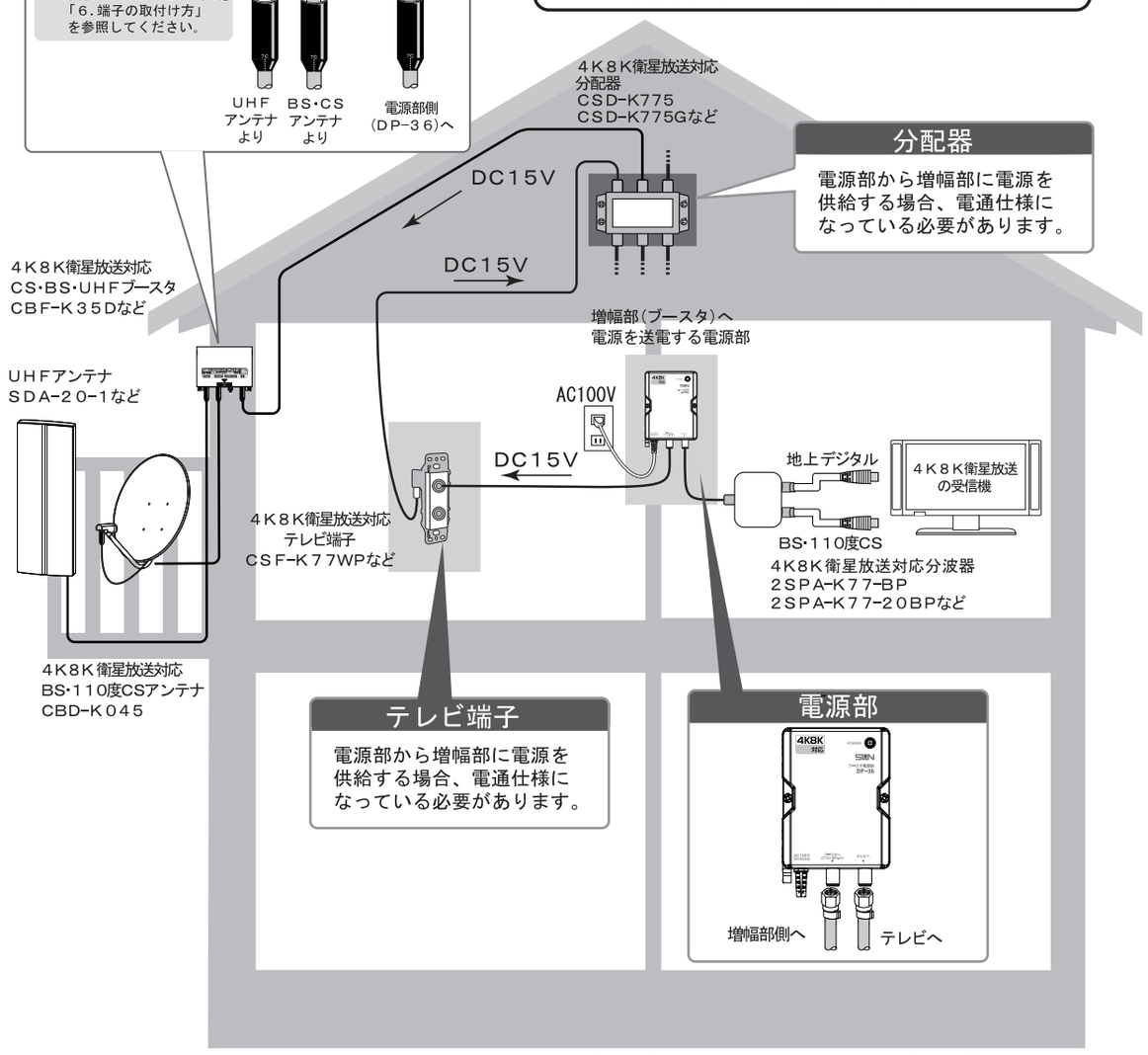
入力端子（ブースタへ）
ブースタの出力端子または電流通過型分配器等の端子へ接続します。
電源（ＤＣ１５Ｖ）が重畳されます。

出力端子（テレビへ）
テレビのアンテナ端子または分波器等へ接続します。

2　接続例

４K・８K衛星放送を受信するためには、本器以外の受信機器も４K・８K衛星放送対応機器を使用する必要があります。

⚠ 注意
- ・電源部は付属のDP-３６を必ずご使用ください。他の電源部では、性能の劣化や、故障の原因となります。
- ・当社指定以外の機器を接続した場合や、プリアンプを接続せずにUHFアンテナ等へ電源供給を行った場合、電源のショートや機器の故障の原因となりますのでご注意ください。



※最新対応機種については、当社ホームページにてご確認ください。
http://www.sun-ele.co.jp

キ リ ト リ

SUN
保証書

サン電子商品をお買い上げいただきありがとうございます。本商品の品質に関しまして裏面無料修理規定の通り保証いたします。本保証書の再発行はいたしませんのでお手許に大切に保管してください。

サン電子株式会社
本　社　東京都新宿区西新宿4-3-12　ＴＥＬ　03（3374）0081（代）
埼玉事業所　埼玉県児玉郡美里町古郡667-2　ＴＥＬ　0495（76）3681（代）
営業所　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・埼玉・横浜・千葉・仙台・仙北・仙南・神戸・小山・静岡

商品名	CBF-K35D・CBF-K41D
お客様	ご住所　〒
	ご芳名
	電話
お買い上げ年月日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より１年間　年　月　日迄

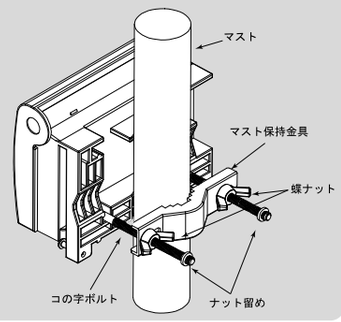
見本

販売店	
店名	印
住所	
電話	（　）

3-1　取付方法（増幅部）

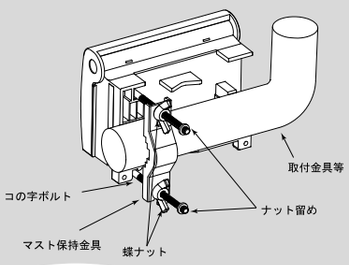
マスト（垂直部）

●コの字ボルトを垂直に立て、マストを本体とマスト保持金具で挟み、蝶ナットでしっかり締め付けてください。
マストの適合径はφ１６～φ４８．６です。



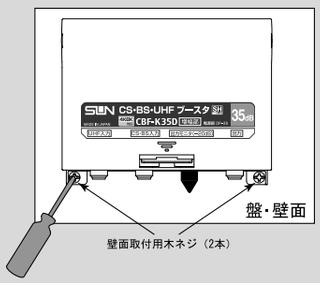
取付金具（水平部）

●コの字ボルトを付け換えることで取付金具等の水平部分（アーム部）に取り付けが可能です。
下記のＳＴＥＰに従ってコの字ボルトを付換えて下さい。コの字ボルトを垂直に立て、取付部を本体とマスト保持金具で挟み、蝶ナットでしっかり締め付けてください。適合径はφ１６～φ４８．６です。



盤・壁面

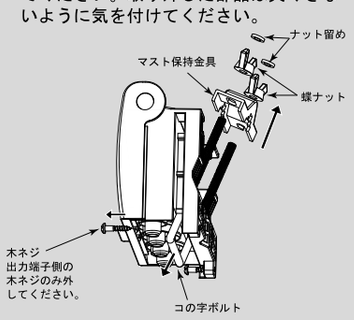
●ドライバーを使用し、本体に取り付けてある「壁面取付用木ネジ」で固定してください。



⚠注意
取り付けを行う際にはドライバーの先端が指先等に突き刺さらないようご注意ください。

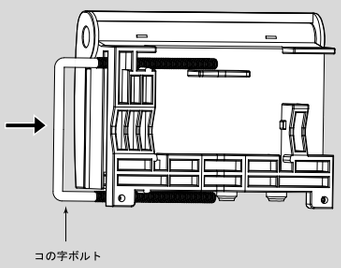
ＳＴＥＰ１

●下図のように本体から各部品を取り外してください。取り外した部品は失くさないように気を付けてください。



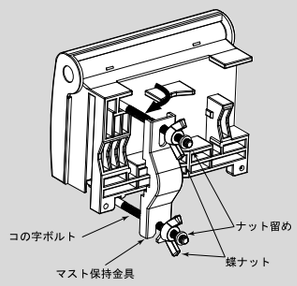
ＳＴＥＰ２

●取り外したコの字ボルトを下図のように本体側面から奥に挿入してください。



ＳＴＥＰ３

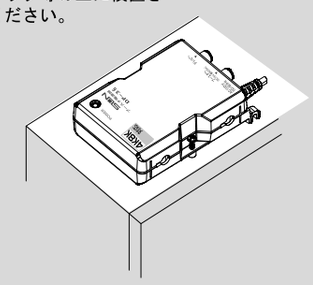
●下図のようにコの字ボルトを垂直に立てマスト保持金具、蝶ナット、ナット留めの順に取り付けてください。



3-2　取付方法（電源部）

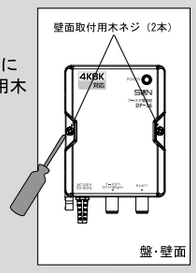
据置きイメージ

●パワーランプを上側にして、テレビラック等の上に横置きにしてください。



盤・壁面イメージ①

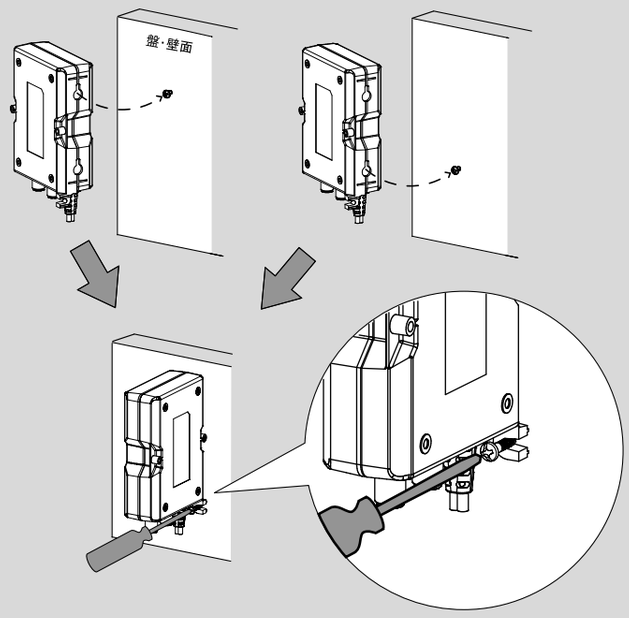
●ドライバーを使用し、本体に取り付けてある「壁面取付用木ネジ」で固定してください。



⚠注意
取り付けを行う際にはドライバーの先端が指先等に突き刺さらないようご注意ください。

盤・壁面イメージ②

●本体に取り付けてある「壁面取付用木ネジ」を２本ともはずしてください。
●ネジ１本を使用し、ドライバー等で板壁面にねじ込んでください。この時にネジの頭と壁の間は２ｍｍ～３ｍｍあけてください。
●電源部のどちらか一方のダルマ穴に引掛けてください。



●Ｕ字穴にてもう１本の木ネジで固定してください。

4　ＣＳ・ＢＳ帯域の調整方法

４Ｋ・８Ｋ衛星放送対応ＢＳ・１１０度ＣＳアンテナの設置および方向調整が完了してから、ブースタの調整をしてください。

重要

４Ｋ・８Ｋ衛星放送＜本放送＞開始前に本器を設置する場合

４Ｋ・８Ｋ衛星放送の本放送が開始される前に設置する場合は、４Ｋ・８Ｋ衛星放送の映像を確認しながら調整をすることができません。ブースタの調整は、現在放送されているＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送の映像を確認しながら調整することになります。
本放送が開始されると受信するチャンネル数が増えますので、過大入力となってブースタの再調整が必要になる場合があります。

事前確認
本器の調整機能が出荷時設定になっているか確認をしてください。
入力アッテネータは原則「－１０ｄＢ」側で使用してください。

ＣＳ・ＢＳ帯域　調整機能出荷時設定
入力アッテネータ：－１０ｄＢ
利得調整　：ＭＡＸ（最大利得）

スタート

ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送の映像を確認してください。
映像は正常に映っていますか？

- 映像が正常に映っている。 → 調整完了です。
- 映像が映らない。映像は映るが、モザイク状のノイズが出ている。 → ＣＳ・ＢＳ帯域の利得調整用のボリュームを左にいっぱい回して最小利得にしてください。（入力アッテネータは－１０ｄＢのまま）
  - 正常に映った → テレビへの入力レベルオーバーになっていました。調整完了です。
  - 改善しない → ＣＳ・ＢＳ帯域の入力アッテネータを０ｄＢ側に切換え、利得調整用のボリュームを右に回しながら（利得を大きくしながら）映像を確認してください。
    - 正常に映った → ブースタへの入力レベルが不足していました。調整完了です。
    - 改善しない → アンテナで受信した電波の信号品質が不足している可能性があります。アンテナ直下で映像が映るかの確認が必要です。販売店もしくは専門の工事業者にご相談ください。

４Ｋ・８Ｋ衛星放送＜本放送＞開始後に本器を設置する場合
４Ｋ・８Ｋ衛星放送の本放送が開始後は、４Ｋ・８Ｋ衛星放送の映像を確認しながら上記フローチャートに沿ってブースタの調整をしてください。

レベルチェッカーを使用して調整する場合の目安＜工事業者様向け＞
４Ｋ・８Ｋ衛星放送の本放送が開始される前は、ブースタから出力される「ＢＳ－１ｃｈ」と「ＮＤ－２４ｃｈ」の出力レベルをチェッカーで確認し、「ＢＳ－１ｃｈ：９６ｄＢμ」、「ＮＤ－２４ｃｈ：９９ｄＢμ」を越えないように調整してください。

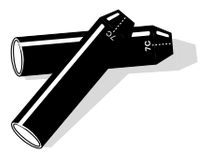
5　同軸ケーブルの加工方法 ※ Ｓ-５Ｃ-ＦＢをご使用になる場合　単位 mm

Ｆ-５接栓は正しく取り付けないと受信不良などの原因となります。

⚠注意
ペンチ・ニッパー等の使用の際には十分ご注意ください。また、芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。

ご注意

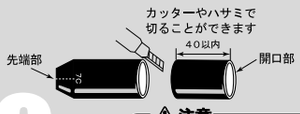
- **７Ｃ同軸ケーブルを使用の際は別途ピン付コネクタをご使用ください。**
- **Ｆ形接栓は使用同軸ケーブルにあったものをご使用ください。付属品としてＦ-５接栓が入っています。**
- **接栓を取り付けた同軸ケーブルの芯線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。**



防水キャップの準備

- ５Ｃ以下の同軸ケーブルを使用する場合はこのままお使いください。
- ７Ｃの同軸ケーブルを使用する場合はハサミまたはカッター等を用い、点線に沿って切り込みを入れてからお使いください。

- 防水キャップはシリンダー型のアッテネータやフィルタ等を内包できますが、お好みに合わせて長さを加工することも可能です。

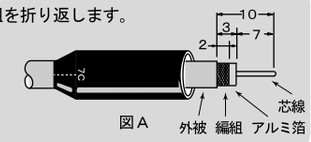


⚠注意
- 切り口が斜めにならないようにカットしてください。
- 開口部から４０ｍｍ以内でカットしてください。

0

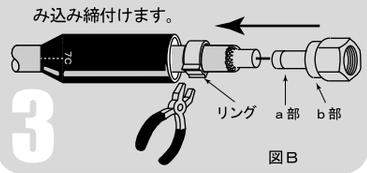
1. 同軸ケーブルを加工する前に防水キャップ（大）を矢印の方向に同軸ケーブルに通します。
※５Ｃ以下のケーブルの場合は接栓を取り付けた後からでも通すことができます。

2. 同軸ケーブルを図Ａのように加工し、編組を折り返します。



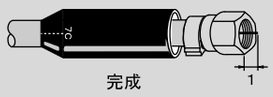
図Ａ

3. リングを同軸ケーブルに通し、Ｆ形接栓のａ部をアルミ箔と編組の間に挿し込み回転させながら、ｂ部が、同軸ケーブルの外被に当たるまで押し込みます。さらに、同軸ケーブルが抜き取れないようにリングのツメ部を図Ｂのようにペンチ等ではさみ込み締付けます。



図Ｂ

4. 最後に芯線をニッパー等で切断します。

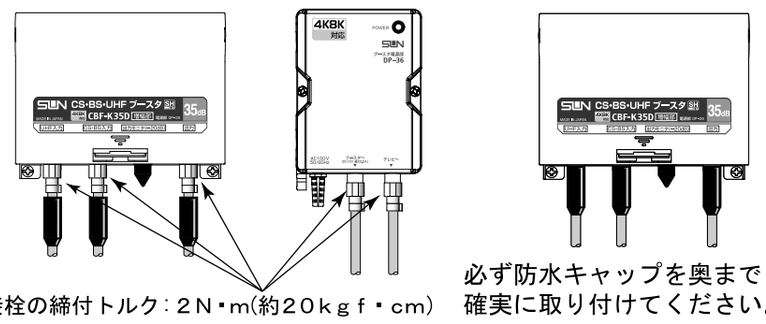


完成

6　端子と同軸ケーブルの接続方法

※ケーブルの加工及び防水キャップの加工は「５同軸ケーブルの加工方法」を参照してください。

1. 加工した同軸ケーブルは増幅部及び電源部の各端子に接続してください。
2. 防水キャップを押し上げてケースに被せてください。使用しない端子にも必ず防水キャップを取り付けてください。
3. 作業後は必ずフタが閉まっていることを確認してください。



Ｆ形接栓の締付トルク：２Ｎ・ｍ(約２０ｋｇｆ・ｃｍ)

必ず防水キャップを奥まで確実に取り付けてください。

7　トラブルシューティング

Q.1　増幅部のパイロットランプが点灯しない。（電源部のパワーランプは点灯している）

A.1
配線・接続の誤りや、コネクタの加工不良が無いか確認をしてください。
増幅部と電源部の間に分配器等が接続されている場合は電流通過端子へ接続されている事を確認してください。

Q.2　電源部のパワーランプが点滅を繰り返したり、緑色に点灯しない。

A.2
配線・接続の誤りや、コネクタの加工不良（ショート）が無いか確認をしてください。
増幅部とCS・BSアンテナ又はUHFプリアンプの間など電源が通電されている経路でショートしていたり、過電流になると電源部の保護回路が働きパワーランプが消灯します。UHFプリアンプを接続せずにUHFプリアンプ用電源をONにした場合もショートになる恐れがありますのでご注意ください。

Q.3　デジタル放送が受信できない、モザイク状のノイズが発生する。

A.3
アンテナからの入力レベルが「高い」場合
➡ 増幅部の入力アッテネータスイッチや利得調整機能を使用し、利得を下げてください。

アンテナからの入力レベルが「低い」場合
➡ 増幅部の入力アッテネータスイッチや利得調整機能を使用し、レベル調整をしてください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

外部からの妨害電波
➡ 妨害電波が原因の場合は、本器では改善できません。
障害を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

8　規格表

増幅部

項目	CS・BS・UHFブースタ		
型名	CBF-K35D	CBF-K41D	CBF-K35D・CBF-K41D
周波数帯域(MHz)	470～710（UHFch 13～52）		1032～3224（CS・BS-ＩＦ）
利得（dB）	32～37	38～43	24～30 / 31～37
適正入力レベル(dBμ) ※1	40～68 (※2 88)	40～62 (※2 82)	48～66 (※2 86)
定格出力レベル(dBμ)	105（9波）		96 / 103（48波）
利得調整範囲（dB）	0～-10以上（連続可変）		0～-10以上（連続可変）
入力ＡＴＴ（dB）	0、-10（切換式）		0、-10（切換式）
雑音指数（dB）	1.5以下		8.0以下
入力インピーダンス(Ω)	75（Ｆ形）		75（Ｆ形）
出力インピーダンス(Ω)	75（Ｆ形）		
ＶＳＷＲ	2.5以下		2.5以下
出力モニタ端子(dB)	-20		
電源電圧・電流/運用消費電力	本体のみ：DC15V 0.13A/2.5W UHFプリアンプ0.05A送電時：DC15V 0.18A/3.5W CS・BSコンバータ４W送電時：DC15V 0.40A/8.2W CS・BSコンバータ4W・UHFプリアンプ0.05A送電併用時：DC15V 0.45A/9.2W		
使用温度範囲（℃）	-20～+50		
寸法(mm)	92(H)×117(W)×52(D)		
質量（g）	290		

電源部

項目	ブースタ用電源		
型名	DP-36		
周波数帯域(MHz)	10～770	770～2681	2681～3224
挿入損失(dB)	1.0以下	1.5以下	2.5以下
入力インピーダンス(Ω)	75（Ｆ形）DC重畳端子		
出力インピーダンス(Ω)	75（Ｆ形）		
ＶＳＷＲ	2.5以下		
電源電圧	AC100V（50/60Hz）		
定格消費電力	10W		
出力電圧・電流	DC15V 最大0.5A		
使用温度範囲（℃）	-10～+40		
寸法(mm)	101(H)×77(W)×32(D)「Ｆ座は除く」		
質量（g）	210		

※１：適正入力レベルの範囲内であっても入力した電波の品質によっては映らない場合もあります。
※２：入力ＡＴＴ(-10ｄＢ)及び利得調整(-10ｄＢ)を併用時の値

■この商品は今後改良・性能向上のため、予告なく形状及び特性を変更することがあります。

サン電子株式会社
本社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-3-12
TEL.03(3374)0081(代)　FAX.03(3376)8801
埼玉事業所　〒367-0111 埼玉県児玉郡美里町古郡667-2
TEL.0495(76)3681(代)　FAX.0495(76)3688
営業所　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・埼玉・横浜
千葉・仙台・仙北・仙南・神戸・小山・静岡
ホームページ　http://www.sun-ele.co.jp

キリトリ

無料修理規定

取扱説明書等の注意事項に従い正しくご使用いただいた上で、保証期間内に故障した場合、お買上げの販売店に本商品と本書をご持参いただき、修理をご依頼ください。当社にて無料で修理対応をさせていただきます。
●次のような場合には保証期間中であっても有料修理となりますので、ご注意ください。

1. 本保証書にお客様名・お買い上げ年月日・お買い求めの販売店の記入のない場合。または、販売店の発行した、お買い上げ年月日、お買い求めの販売店を確認出来る証明書（領収書など）がない場合。
2. 本保証書の字句を書き換えられた場合。
3. 火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、洪水、津波、その他の天変地異、公害、ガス害、塩害、異常電圧等または戦争や暴動などの破壊行為が故障の原因である場合。
4. 不慮の事故、使用上の誤りが原因である場合。
5. 色あせなどの経年劣化や使用に伴う外観上の損傷。
6. 当社以外での修理又は改造による故障が生じた場合。
また、その形跡や商品筐体を開けた形跡がある場合。
7. 他の機器などにより故障が誘発された場合。
8. 用途以外（例えば車両・船舶への搭載など）への使用で故障が生じた場合。
9. 設置工事、施工の不備によって故障が生じた場合。

見本

※本書は日本国内においてのみ有効です。　(This warranty is valid only in japan.)